

令和 6 年 4 月 18 日
 西日本高速道路株式会社

NEXCO 西日本で初となるスマートゴミ箱の設置 ～E11 高松道 豊浜 SA 上下線に 4 月 26 日から導入～

NEXCO 西日本四国支社(高松市朝日町、支社長 布川 勝正)は、E11 高松自動車道(高松道) 豊浜サービスエリア(SA)上下線に NEXCO 西日本の高速道路では初めてとなるスマートゴミ箱「SmaGO(スマゴ)」を令和 6 年 4 月 26 日から導入します。

SmaGO は、株式会社フォーステックが展開する IoT 技術を活用したゴミ箱で、通信機能を通じてゴミの蓄積状況をクラウド上でリアルタイムに把握することができます。ゴミ箱内のセンサーがゴミを検知し、ゴミが溜まると自動的に圧縮され、ゴミが溢れるのを防ぎます。電力は太陽光発電によりまかなわれ、環境にもやさしいゴミ箱です。

豊浜 SA では年間約 50 トンのゴミが発生しております。SmaGO 導入によりゴミ回収の効率化が図られ、ゴミの増えるハイシーズンにおいても休憩施設の美化が保たれるなどの効果が期待されます。導入後は運用状況を確認し、きれいでクリーンな休憩施設の提供を目指すとともに、環境保全、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1. SmaGO の概要

1) 諸元・機能



- ※1 一般ゴミ用 (容量 125 ℓ) は
 通信機能、圧縮機能、ソーラー発電を装備
- ※2 ビン・缶・ペットボトル用 (容量 189 ℓ) は
 通信機能を装備

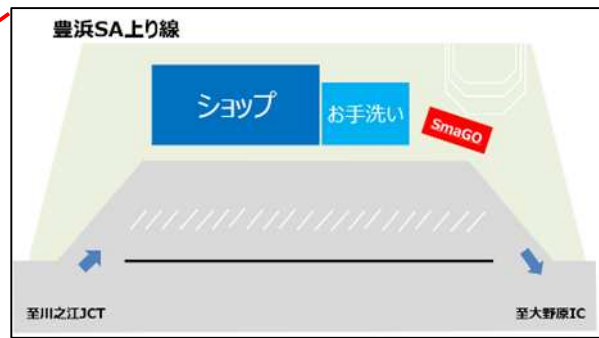
2) 特色



SmaGO の詳しい情報は(株)フォーステックの WEB サイト (<https://smago.jp/>) をご覧ください。

2. SmaGO 導入箇所

1) E11 高松道 豊浜 SA 上下線



2) 設置イメージ

上下線のそれぞれに一般ゴミ用×3台、ビン・カン・ペットボトル用×4台の計7台、上下線あわせて14台を設置します。

【設置イメージ】豊浜 SA 下り線



※豊浜 SA に設置する SmaGO は屋外広告としても活用します。